

〒669-2133 079 597-2033
兵庫県篠山市今田町下小野原69
近畿楽寿観音霊場第十六番札所
二老山和田寺
(郵便振替 01110 - 6 - 5165 和田寺)

写経奉納のおすすめ

法華経法師品の中に「若し復た人あって、此の経を受持し、若しは読み、若しは誦し、若しは解説し、若しは書写して、法の如くに修行を積むならば・・・よく大願を成就す。」とあり、その他、諸大乘経にもひとしく写経の功德が説かれています。

私たちは慌しく毎日を生きています。ややもすると雑多な迷いを生じてしまいます。また、年ごとに、高齢化、長命が進みますが、一方では老後の生活の不安、病気や特に痴呆への不安も多くなります。こういった不安感も仏教では煩惱、すなわち迷いとみなします。これらの迷い、汚れを払い落とす為に、また豊かな老後を迎える為に、心を浄化して清浄の心を養い、佛心を体得する結縁の手がかりであるといわれている写経をみなさまに(老若男女の区別なく)是非、お勧め致します。又、亡き方やご先祖様のご供養にもなります。写経奉納はどなたでも、又一人で何枚でも、何回でもできます。一行でも十行でも、写経することによって得られ保たれる清浄の心が尊いといわれております。清く澄みきった心で人々に接し、人生の明日を迎えることが出来たならば、自行化他(じぎょうけた)、忘己利他(もうこりた)、すなわち自分のためばかりでなく、他人への思いやりの気持ちを育み、明るい社会づくりの無限の財を作る浄業となるといえましょう。 合掌

写経の書写の仕方

1 「巻物」ご使用の場合

イ、薄い字で印刷してある「心経」を、筆・筆ペン・ボールペン等で上から心を落ちつけゆっくり、丁寧になぞって下さい。

ロ、住所・・・あなたの現住所をお書き下さい。

ハ、姓名・・・祈願者名(写経された方)をお書き下さい。お身体のご不自由な方の代筆をされた場合は、祈願者名を書いてから左側に一字下げて代筆者名と「代筆」とお書き下さい。

一人で一卷(一枚)写経されるのが原則ですが、ご家族の方が交互に写経された場合は、お書きになった方の名前を全員書いて下さい。

(写経奉納祈願料は人数関係なしに一卷につき3,000円です)

二、右為・・・の下に祈願内容をお書き下さい。

(例)追善供養(〇〇家先祖代々追善菩提又は〇〇〇〇〇〇霊位追善供養) 息災延命、
家内安全、子孫繁栄、健康増進、交通安全、厄除招福、夫婦円満、商売繁盛、
学業増進、当病平癒(病名)

ホ、全て書き終わりましたら、しっかりと巻き、表紙の奉納者の所に「住所・氏名」を
ボールペンで書いて下さい。

二、半紙で包み、封筒に入れ、ご持参もしくは郵送、上記番号まで郵便振替にてご
送金下さい。

「巻物」の写経奉納祈願料は一巻につき3,000円です。

2 「写経紙(一枚紙)」ご使用の場合

(1) 指定の写経用紙・・・「般若心経」

上記「巻物」と同じ要領で写経し、「心願」の下に祈願事項(上記参照)「氏名」
「住所」には上記の要領でご記入下さい。

(2) 指定の写教用紙・・・「十句観音経」

大字「南無楽寿観世音菩薩」9字のみの写経です。短時間で書写出来、ご老
人の方やお身体のご不自由な方にも写経奉納して頂けるよう用意したも
のですが、十句観音経の前に薄く印刷してある「南無楽寿観世音菩薩」の文字
をゆっくり、丁寧になぞって下さい。以後の経文も書写していただいても
結構です。(楽寿観音さんの絵の上に書写)

次に「心願」「氏名」「住所」をご記入下さい。

(3) 指定外の用紙をご使用の場合(市販の写経用紙・半紙等をご使用の場合)

イ、書写するお経は「般若心経」「十句観音経」「法華経観世音菩薩普門第二十五偈文
(世尊(偈))の中からお選び下さい。

ロ、一枚につき一巻を写経して下さい。

八、写経された紙を折りたたみ、半紙で包み、持参もしくは郵送、上記番号まで郵
便振替にてご送金下さい。

「一枚紙」の写経奉納祈願料は一枚につき1,000円です。

写経用紙(巻物、一枚紙)必要な方は郵送致しますのでお申し出下さい。

1、2 共にお預かりした日より先の原則、毎月18日楽寿観音月例祭(午前9時~ 9時30分の間)にて写経奉納を行ないます。ご参拝される時は法要日の変更があ りますので事前にお問い合わせください。(尚、8月は行いません)
--